



暖かい春の日差しが新学期の訪れを歓迎しているように感じる今日この頃です。1年生の皆さんは、新川高校での新たな生活に胸を弾ませていることと思います。2・3年生の皆さんは、新たなクラスメイトとの交流を楽しみながら、勉強や部活、学校行事に精を出していることでしょう。図書館はそんな皆さんの心のオアシスになれるよう、楽しい本や雑誌を用意しています。例えば、昨年度の本校での人気図書を集めたコーナーや、図書委員のコメント付きのお薦めの本のコーナーがあります。また、様々な企画があり、現在は「懐かしのゲーム」を展示中です。展示ケースの中は年間を通して変えていきます。展示ケースに飾るコレクションを持っている人がいたら、ご協力ください。多くの皆さんが本に興味を持ち図書館に足を運んでくれるよう、いろいろなイベントを用意していますので、楽しみにしててください。

今回の図書館だよりでは、新川高等学校の図書館について紹介します。

図書館の利用について

貸出冊数・期間 2冊まで 1週間

開館時間 昼休み 12:35~13:10 業後 LST終了後~16:55

新聞・雑誌

朝日新聞、中日新聞、図書館教育ニュース、文藝春秋、ニュートン、スクリーン、

ナンバー、NON-NO、MEN'S NON-NO、ダ・ヴィンチ、オレンジページ、アエラ、

Tokai Walker、日経 PC21、旅の手帖、ROCKIN'ON JAPAN、ENGLISH EXPRESS

図書館情報

- ☆ 検索 ⇒ 題名、著者名を図書館内のPCに入力すれば、本について調べられます。
- ☆ 予約カード ⇒ 読みたい本が貸し出し中の場合、カウンターにある「図書貸出予約カード」を使えば、返却された際に優先的に借りられます。
- ☆ 購入希望 ⇒ 自分の読みたい本が図書館にない場合、カウンターの「図書リクエストカード」を使ってください。今後の購入の参考にさせていただきます。

※他に不明な点がありましたら、図書館に来館した際に質問してください。

諸注意

1. 飲食物の持ち込みは禁止です。
2. 入館する時は、館内用のスリッパに履き替えてください。
3. 館内でのスマホ・ケータイの使用は禁止です。
(業後に来館する際は、荷物を入り口付近の棚に置いて、入ってください。)
4. 本を返却する際に
図書館の開館時間内ならば、カウンターで本を返却してください。
開館時間外ならば、返却BOXに入れてください。

図書委員お薦めの本

『人間失格』(太宰 治)

【1年図書委員】

「恥の多い生涯を送って来ました。自分には、人間の生活というものが、見当つかないのです。」

青森の大金持ちの息子であり、廃人同様のモルヒネ中毒者だった大庭葉蔵の手記を借りて、自己の生涯を極限まで作品に昇華させた太宰文学の代表作品。

「人間失格」は昔の作品ということで、難しそうと思っている人が多いと思います。ですが、想像よりわかりやすかったです。いつも読んでいた作品とは書き方や雰囲気などが全然違いました。聞き馴染みのない言葉も多いですが、注釈と照らし合わせながら読んで、自分の頭の中に新しい言葉が増えていくのが楽しかったです。何回も繰り返し読むと、内容を深く理解することができて、面白さが増してきます。

「人間失格」を知らなかった人も、知っていたけれど読むのをためらっていた人も、この機会にぜひ読んでみてください。

『生きるぼくら』(原田マハ)

【1年図書委員】

いじめから引きこもりになった24歳の主人公は、出て行った母が置いていった年賀状の束に大好きだった祖母の名を見つけます。そこには余命数ヶ月と書かれていました。祖母のいる蓼科を4年ぶりに訪れると、予想を覆す状況が待っていました。

この物語は、人の温もりや米作りから主人公の人生が変わっていく、とても心温まるものです。登場人物もそれぞれ強さや良さがあり、元気をもらえます。また、米作りの過程がひとつひとつ丁寧に書かれており、物語に入って読み進めていくことができます。「米作り」を通した命のつながりなど、何か大切なものが心に残ります。タイトルや「米作り」という言葉からはピンとこないでしょうが、ぜひ1度読んでみてほしいです。

